

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 7 番

氏名 村武 まゆみ

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1. 乳幼児期の保育について

(1) 保育士について

今年度、76年ぶりに国の保育士の配置基準の見直しがされた。保育士1人あたりがみる子どもの人数は0歳児は3人、1歳児2歳児は6人、ここまでは変更がないが、3歳児は20人から15人に、4歳児5歳児は30人から25人になった。これによって保育士1人あたりがみる子どもの人数が少しだけ少なくなり、負担も減り、子ども達のことをより手厚く見守ることができる。しかしこれに伴い、保育士を増やす保育園も出てくることで保育士確保や保育士育成についてより一層考える必要がある。

- ① 以前から保育士不足について問題になっている。配置基準の変更があり、現在の浜田市の保育士不足の状況についてどのように認識しているか伺う。
- ② 保育士不足に対して市としてどのような対策を考えているか伺う。

(2) 支援や配慮が必要な子どもについて

- ① 放課後等デイサービスの利用者が毎年増えている。幼児期の早い段階での発見が必要であるとする。現在の検査体制について伺う。

(3) 保育園等乳幼児施設について

- ① 今後子どもが減少すると予想される中、保育園等乳幼児施設の存続が厳しくなると考えられる。市としての考えを伺う。

2. 若い世代が住みたいと思う浜田市について

(1) 若い世代が望む施設について

- ① 人口減少が続く中、浜田市においても若い世代が住みたくなる浜田を目指している。若い世代にとって住みたいと思う環境も必要である。どのような環境・施設が必要であると考えているか伺う。

(2) 若い世代が望む DX の推進について

- ① 今の社会において DX の推進は不可欠である。若い世代にとっても住みたいと思う要因になると考える。今後、庁内職員で検討するチームを進めるということだが、内容について伺う。

3. 移住定住の推進について

(1) 移住定住の現状について

- ① 全国的にも島根県内でも移住定住にはどこも力を入れている。過去 3 年間の移住定住の件数について伺う。
- ② 増加するための施策について R6 年度に特に力を入れている事業について伺う。

以上